

酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業(拡充)

1 事業の目的

酪農は、搾乳や飼料給餌などの周年拘束性が高く、労働負担が大きい作業が多く、政府の「働き方改革」の趣旨を踏まえ、平成28年に取りまとめられた農業競争力強化プログラムにおいて、酪農家の働き方改革を短期・集中的に支援することとされた。この実現のためには、省力化機械装置の整備や協業化の推進等により酪農家の労働条件を改善し、酪農家の継続的な営農環境を整え、生乳生産基盤を維持・強化することが喫緊の課題となっている。

このような状況を踏まえ、酪農家による省力化機械装置の導入と一体的な施設の整備に対する支援、複数の酪農家が搾乳作業等をまとめて省力的に実施するための集合搾乳施設の整備及び乳用後継牛の育成を担う預託施設の機器整備等を緊急対策として支援することで、働き方改革の実現の一層の加速化を図る。

2 事業の内容

地域の酪農家等、酪農関係者が参画する協議会において、労働負担軽減、集合搾乳施設整備及び預託育成施設の整備を図る計画が策定された場合、当該計画の実現のため、以下の取組を支援する。

(1) 省力化機械装置の導入と一体的な施設の整備

酪農を営む者に対し、その実情に応じた労働負担軽減に資する省力化機械装置の導入と一体的な施設の整備を支援する。

(2) 集合搾乳施設の整備

複数戸の酪農家が協業し、搾乳作業などの作業を集中管理するモデル的な集合搾乳施設の設置を支援する。

(3) 預託施設の機器等の整備

乳用後継牛の育成を担う預託施設に対し、乳用後継牛の受入体制を強化するため、預託施設の機器整備等を支援する。

3 事業実施主体 民間団体

4 所要額(補助率) 5, 500百万円(定額、1/2以内)

担当課 : 生産局畜産部畜産振興課
代表 : 03-3502-8111 内線 4923
担当者 : 春名、阿南

- 酪農家における労働負担軽減に資する省力化機械装置の導入と一体的な施設の整備を支援。
- 乳用後継牛育成の負担軽減のため、育成牛の受入体制の強化を図る取組等を支援。

省力化機械装置導入と一体的な施設整備

施設の補改修・増築等



- ・既存の施設では省力化機械装置の性能が十分に発揮されない
(例)
- ・通路が狭すぎてロボットの搾乳区域手前で牛が渋滞。
- ・牛舎の強度不足でレール式の大形・高効率の機械を導入できない。



【搾乳ロボット】



【ミルクングパーラー】



【搾乳ユニット搬送レール】



【自動給餌機】



【ほ乳ロボット】※レール式のもの

(施設と一体整備の必要のない餌寄せロボット、発情発見装置、分娩監視装置等は対象外)

その他

育成体制の強化

後継牛の育成体制を強化するため、

- 1 牛舎等の補改修
搾乳牛舎から育成牛舎への変更に伴う内装の補改修等
- 2 省力化機器の導入
自動給餌機、ほ乳ロボット等の省力化機器の導入
- 3 放牧場・運動場の整備
電牧作、牧草種子などの資材導入



拡張・
機器整備

育成牛の
受入頭数を拡大

集合搾乳施設の設定